



きじむんの どう〜ちゅいむにい〜 文庫紹介編

なかぞねせいぜん 第1回：仲宗根政善文庫

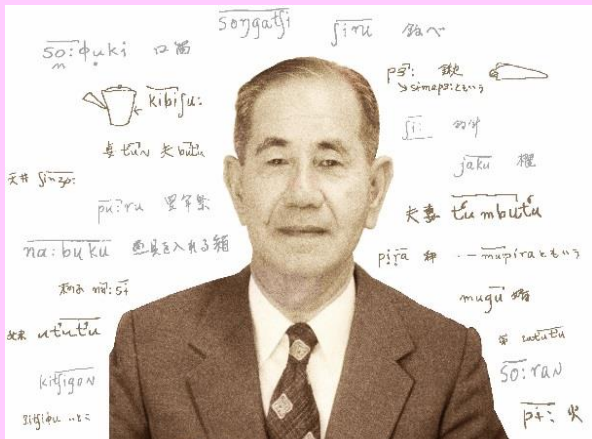
キーワード：琉球方言 沖縄今帰仁方言辞典 沖縄学 服部四郎 伊波普猷 ひめゆり学徒隊

はいさーい！きじむんやいびーん！今年度のコラム「きじむんのどう〜ちゅいむにい〜」は、附属図書館所蔵の文庫を、寄贈した人物のエピソードや関連本・貴重書などを交えながら紹介していくよ。第1回は仲宗根政善文庫だよ。

●仲宗根政善について

仲宗根政善は、戦後の琉球方言研究の基礎を築いた偉大な方言学者であり、教育者、平和運動家。琉球大学名誉教授で、図書館長、副学長を歴任されたよ。東京大学で国文学を学び、この頃今帰仁方言の研究を始めるきっかけを与えた人物であり、生涯の親友でもある服部四郎(言語学者、東京大学名誉教授)、沖縄学の父である伊波普猷に出会っている。卒業後は沖縄で教員となり、沖縄戦の際はひめゆり学徒隊の引率教官をされた。

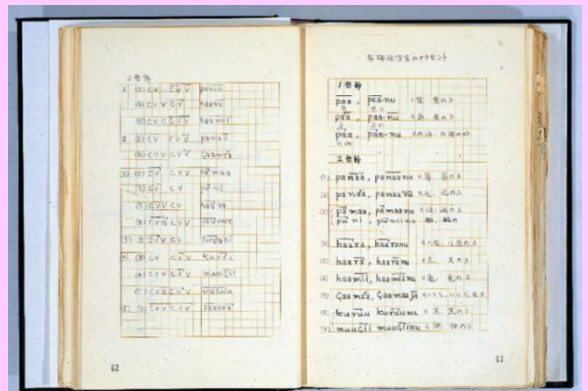
戦後、先生は亡くなった教え子達の供養と平和活動を続けながら、教育に力を注がれた。琉球大学での教育のかたわら、今帰仁をはじめ琉球列島の数多くの地点での方言を記録・研究をなされ、極めて貴重な方言研究資料を数多く残されたよ。『沖縄今帰仁方言辞典』を出版、これによって沖縄県出身者ではじめて日本学士院賞(日本の学問に貢献した人に贈られる)を受賞された。その他の著書に『琉球方言の研究』、『沖縄の悲劇：ひめゆりの塔をめぐる人々の手記』、『琉球語の美しさ』がある。



仲宗根政善 なかぞねせいぜん
(1907.4.26~1995.2.14)
琉球大学副学長 沖縄県今帰仁村出身

●仲宗根政善文庫(仲宗根政善言語資料)について

1953年頃から1989年頃までの主に方言研究に関する約9万2千ページの先生直筆の資料で、1990(平成2)年に附属図書館に納められたよ。当時の資料はバインダーに綴じられた物や原稿用紙、ノートなどのさまざまな形態だったけれど、今は329冊に製本されているよ。資料はすべて戦後のもの。先生は沖縄戦の戦場でも方言資料を大事に持ち歩かれたそうだよ。でも残念ながらその戦前の資料は、戦場で全て失われてしまったからこの文庫には含まれていないんだ。仲宗根政善文庫には、「日本語方言学において最もすぐれた学術的業績のひとつである」といわれる『沖縄今帰仁方言辞典』の草稿や、50年以上前の方言を精密な音声記号で記録した方言資料など、極めて質の高いものが多くあるよ。方言資料以外にも、『おもろさうし』に関する研究資料や、琉球大学で教鞭をとられていた時の講義ノート、日記・雑記などの、方言学者以外の仲宗根政善を知ることのできる資料もあるんだよ。



『今帰仁与那嶺方言のアクセントI』61コマ

図書館ホームページでは文庫の一部をデジタル画像で公開しているよ。ぜひ閲覧してみてね。(沖縄資料担当: AH)

↓ココをチェック!



参考文献：仲宗根政善『沖縄今帰仁方言辞典』(角川書店、1983)
狩俣幸子編『仲宗根政善言語資料(手稿)目次集』(琉球大学附属図書館、1997)
沖縄文化協会『沖縄文化』83号・104号(『沖縄文化』編集所、1996・2009)